

令和4年度入学(令和3年度実施)一般選抜(後期日程)小論文試験 出題のねらい

看護学科アドミッションポリシー	出題のねらい
<p>看護学科は、看護学をはじめ保健・医療・福祉の各分野に貢献できる人間性豊かで倫理観に富む資質の高い看護の専門職を養成するとともに、看護学の教育研究の推進も目指します。少子高齢社会の到来や疾病構造の変化など、保健・医療・福祉分野が担う役割は複雑化、高度化しています。さらに活躍の場は医療施設にとどまらず、地域へと拡大しています。看護学科では、保健・医療・福祉に関する深い関心を持った学生を求めています。以下のような資質が必要となります。</p>	<p>時代の変化を捉える力、社会の潮流を意識する力、人の心と身体の健康への関心や素養を評価する。</p>
求める学生像	<p>《知識・技能》 ①看護学の習得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人</p> <p>看護職に必要な、人間の気持ち、その社会や文化の価値観について思考できる能力を弁別する。</p>
	<p>《思考力・判断力》 ②身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人 ③高い倫理観に支えられ、自分を律する能力をもっている人</p> <p>新聞記事を繰り返し記述するのではなく、日本社会の特徴、現状をふまえ、論理的思考をもとに自分の考えを記述する能力を弁別する。</p>
	<p>《表現力》 ④他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人</p> <p>正しい日本語で、誤字脱字なく、記述できる能力を弁別する。</p>
	<p>《主体性・多様性・協働性》 ⑤看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人 ⑥他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人 ⑦自己・周囲の変化に応じて対応できる能力を持っている人</p> <p>大学で学ぶということは、研究の基礎を学ぶことである。職業訓練ではなく学問として看護学を学ぶため、科学研究に対する視点の有無を弁別する。</p>
	<p>《その他》 ⑧自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人</p> <p>心身を良好に保ち、受験に臨むことができるかを評価する。</p>